

# 議会運営委員会行政視察報告書

藤本 秀樹

## ○静岡県藤枝市

### 決算審査特別委員会での事業評価と各常任委員会での予算への提言について

#### 【所見】

藤枝市議会の議会改革特別委員会の皆様から、予算・決算に係る提言と事業評価などについて、ご教示頂きました。

予算特別委員会の設置。ここまではよくある話ですが、藤枝市では次年度の予算編成にむけて、決算特別委員会で市の事業評価を行い、提言をまとめ、市に提出。市も、この提言書を重く受け止め、ほとんどが反映されているとのことでした。決算審査を重視し、1001事業に目を通し、その中から最終的には14事業を抽出して、徹底的に評価をしているとの事です。更には各委員の評価を取りまとめ、事業評価書とともに提言も提出しています。また、各常任委員会からは政策的な提言書も提出されています。そして、予算委員会で提言が反映されているのかを厳しくチェックしております。

これらの細かな過程をたどる事で、決算委員会の提言が事業評価に基づく提言となり、常任委員会からの提言は政策的課題の提言となります。そして、執行部の予算編成に反映され、調書が予算委員会に提出される流れとなります。

このような決算常任委員会・各常任委員会・予算常任委員会によるチェックサイクルは、行政にプレッシャーを与え、年度予算の進行管理や課題解決の糸口を見つけるうえで非常に重要な役割を果たしていると考えます。市の予算がどのように使われているのか、正しく使われているのかをチェックする事は、二元代表制を担う上で最も大切な役割の一つであると考えます。この度の視察は、当局からではなく超党派の議員からご教示頂き、市議会議員としての在り方も再確認したように思います。当局と、議員の地道な積み重ねにより構築された優れた事業であります。容易に事業化できる取り組みではありませんが、本市でも導入する事を検討してはと考えました。

## ○愛知県一宮市

### 議場の大型スクリーンの活用について

#### 【所見】

一宮市議会で議会事務局の皆様から、大型スクリーンの活用についてご教示

いただきました。

本市では、令和元年度から議会運営の効率化及びペーパーレス化を進め各議員にタブレット端末を導入しています。タブレットを導入したことで会議資料の確認や連絡調整など、数字で効果が見えやすい「業務効率化」や「コスト削減」という言葉がこれまでクローズアップされてきました。今回の視察を終えて、タブレットをさらに活用できる付加価値として議場での大型スクリーンに質疑応答時に関連する写真やグラフなどを画面に映すことで、市民傍聴者やわたらせTV、インターネットでの視聴者にも主旨や論点をより分かりやすく立体的に伝えることができるようになるのではと強く感じました。

私が懸念した点の、個人情報の取り扱いやスライドを投影する場合の容認は誰が行うかについては、使用する画像や写真等は、著作権や肖像権の許可を、議員本人が確認したものを使用するとしていました。また、三日間の試写期間を設け、著作権等の許可を得られていることの確認と、投影の状態等を議事調査課職員が行っています。個人情報の扱いはとてもデリケートな点ではありますが、これまで大きなトラブルは一度も無かったとの事でありました。また、パソコン等の苦手な方への平等性に欠けるのではとの質問には、年間約6割の議員が活用しており、機器の取り扱いもパソコンやタブレット等をモニター配線につなぐだけであり、研修なども特に行ってはいないとの事でありました。本市では、令和3年8月にモニターに関する検討報告を議長に提出しており、翌月には当局の65インチモニターを借り、議員等の正面からの姿を映し出しています。一宮市のスクリーンは200インチと議場の広さからも桁が違いますが、活用の仕方には参考とさせて頂く点が多くありました。

市民の皆様へ議会の取り組みをより理解して頂くうえで、議場に大型スクリーンを設置して、そこに議員や執行部が提示する資料や写真をプラスする事で、議論の趣旨や論点がより伝わりやすく、理解が深まり活力が生まれるのではと感じました。